



新事業創出促進進出資制度に基づき、5千万円の追加融資を受けた沖縄ジエイ・アドバイザーの高山征嗣CEO（右）と沖縄公庫の砂川則夫新事業育成出資室長。25日、那覇市おもろまち。

沖縄ジエイに 5千万追加出資

新事業支援で沖縄公庫
沖縄振興開発金融公庫
（譜久山管則理事長）は25
日、プロ投資家向け市場の
東京プロマーケットへの上
場審査をする沖縄ジエイ・
アドバイザー（名護市、高
山征嗣最高経営責任者・C
EO）に新事業創出支援と
して5千万円の追加出資を
実行した。同社は現在、県
内企業3社と契約を交わし

ており、早ければ来年夏にも1社が上場予定で、残り2社も早期の上場に向けて調査や審査を進めている。

沖縄ジエイは、東京証券取引所から認定を受けた上場審査に関する指定アドバイザーで、これまでに県内企業2社を含めて5社の上場を支援してきた。沖縄公庫は出資の理由について、沖縄ジエイの企業価値向上を支援するコンサルティング業務、ビジネスマッチングなどの取り組みが沖縄の自立的経済の発展に資するものと評価したとした。

25日、沖縄公庫で会見した高山CEOは「今後は1年に1社程度東京プロマーケットに上場する企業を誕生させたい。日本経済の活性化をけん引する産業振興

のモデルを沖縄から実現させたい」と抱負を述べた。

公庫ジエイ社に出資

5000万円追加「金融インフラに」



沖繩公庫から出資を受けた高山征嗣CEO（右）と公庫の砂川則夫室長。25日、那覇市、沖繩振興開発金融公庫

沖繩振興開発金融公庫（譜久山當則理事長）は25日、上場審査やビジネスマッチングなどを展開するOKINAWA J-Adviser（沖繩ジエイ・アドバイザー、名護市、高山征嗣CEO）に5000万円を追加出資した。同社は、上場を目指す企業が株式市場を通じて地元から資金調達する沖繩型上場モデルの構築に取り組み、増資で安定的な事業展開を進め、上場支援

やマッチングを増やし、産業集積やアジアからの投資を狙う。

同社は、東京証券取引所のプロ投資家向け市場TOKY OPRO Market（東京プロマーケット）の上場審査機関の一つで、現在は県内企業3社を支援。公庫出資を含めて6300万円を増資し、資本金は1億6300万円となった。

公庫の砂川則夫室長は「沖繩型上場モデルは、今後の金融インフラになる」と期待。高山CEOは「モデルを広げ、沖繩の産業振興と日本の活性化につなげたい」と話した。